

分娩時に妊娠高血圧症候群（PIH）と診断された母親における母乳率からみた現状調査

1. 研究の意義・目的について

日本赤十字社医療センターは、平成12年8月にWHO（世界保健機関）、UNICEF（国連児童基金）から「赤ちゃんにやさしい病院（Baby Friendly Hospital）」として認定されました。当センターではお産された皆様が母乳で育児ができるように支援しておりますが、妊娠高血圧症候群と診断された方に対してさらに適切な支援を行うために、データの収集・分析を行います。

2. 研究の方法および期間について

平成28年1月1日から平成28年12月31日にご出産された方の診療録からデータを収集します。

3. 予測される結果（利益・不利益）について

診療録の記録を後から分析しますので、診療の時点での利益・不利益はありません。

4. 個人情報の保護について

研究にあたっては、個人情報を直接同定できるような情報は使用されません。また、研究の発表時にも個人情報は使用されません。

5. 研究成果の公表について

研究成果は学会発表で公表される予定です。

6. 費用について

謝礼などはお渡ししておりません。

7. 研究利益相反について

平成29年度一般社団法人日本赤十字社看護師同方会看護研究助成金交付を申請しています。

8. 問合せ等の連絡先

日本赤十字社医療センター5A病棟 重松 環奈

〒150-8935 東京都渋谷区広尾4-1-22 電話：03-3400-1311（代）